



今こそ、子どもの心をはぐくむ支援を

サポート会員 ご入会・ご寄付のお願い

NPO法人 チャイルドケアサポートセンター
理事長 鶴田 貴豊

長く続いたコロナ禍では、親子が集う場所がなくなり、感染を心配して親族の行き来も控えるなど、子育て家庭には深刻な影響がありました。その中でママトモ魚町は、孤立する親子の拠り所として多くの方が一時預かりを利用され、昨年に引き続き過去最高の託児人数（1,288名）でした。

今、国では少子高齢化対策が重要な政策と位置付けられ、児童手当給付額の増加や待機児童対策などが推し進められています。経済的な支援、働き続けられる支援も必要ですが、パパママに寄り添い、乳幼児期のお子さんが愛されていると実感できるように、心を育む支援も、今、なくてはならないものだと感じています。

2022年度も、多くの方にご支援をいただきました。本当に感謝申し上げます。ママトモ魚町の託児数が増えた事、皆様のご支援と事業復活支援金を受けた事で、2022年度は一昨年に比べ多く期末残を残す事ができました。2023年度も、親子の笑顔のために、そして少子化解消の未来のために、ご支援よろしくお願ひいたします。

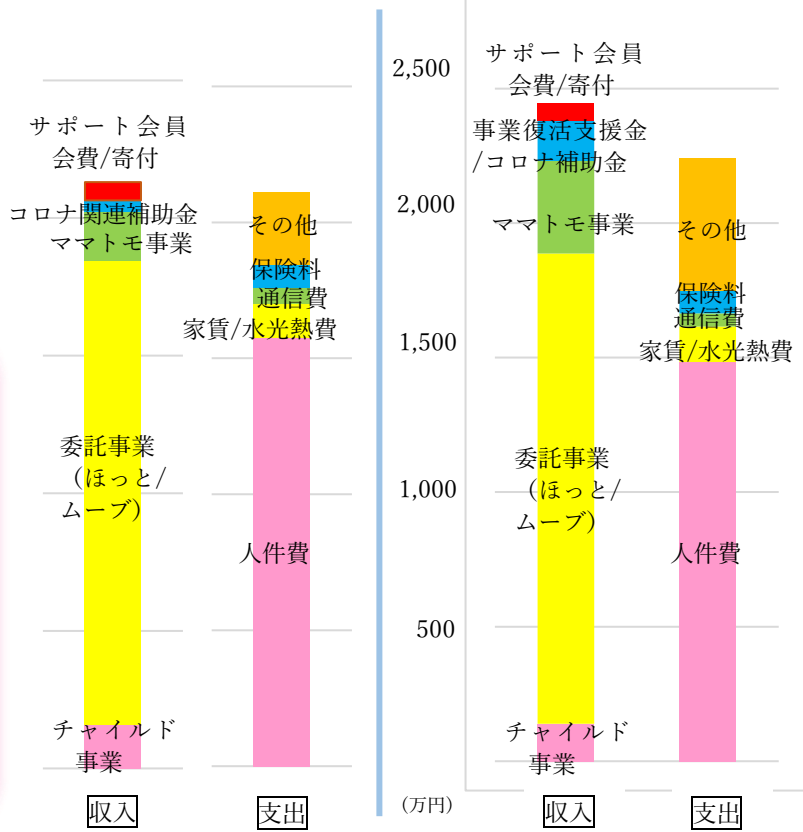


現在のサポート会員

個人会員 30名
法人会員 11社
寄付 8名・1社
(2023年3月末現在)

| 2021年度 | |
|---------|----------|
| 総収入 | 21,302千円 |
| うち会費/寄付 | 663千円 |
| 支出 | 21,122千円 |
| 期末増減額 | +179千円 |

| 2022年度 | |
|---------|----------|
| 総収入 | 24,449千円 |
| うち会費/寄付 | 654千円 |
| 支出 | 22,403千円 |
| 期末増減額 | +2,045千円 |



ママのかわりに
保育園のお迎え